

事業者向け 自己評価表

児童発達支援

記入年月日: 令和6年7月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		広々としたスペースを確保し、机上課題、粗大運動ともに行うことができるようにしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		通常よりも多くの職員さんを配置することで、余裕を持ち、療育に入ることができるようにしております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		出入口に靴を履くための手すりを設置したり、0歳児のお子さんにも過ごしていただけるように床材など配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝、毎療育ごとに清掃、消毒を行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		療育の動画を見返すなど、こんなときどうしたらよかったのかなど、職員が相互に確認しております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		月に1回の相談の時間以外にも、見学スペースにてお話ししていただけるよう心がけております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		支援の質、評価及び改善について会議、昼礼など折に触れ確認し、実際の支援に活かしていくようつとめております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部の研修のほかに、それぞれの職員のもつスキルに合わせ、内部研修も行っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	○		アセスメントは、初回と、適宜行い、個別支援計画に反映するようにしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用しております。
	11	支援計画には、支援ガイドラインの「支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援に必要な項目を適切に選択し、一人一人に合わせた、具体的な支援内容にしております。
	12	支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に基づいたサービス提供実施記録を作成し、支援を行っております。
	13	活動プログラムの立案を相談しながら行っているか	○		それぞれのもつスキルにより、支援の内容を組み立てております。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		般化を意識し、多角的な視点でプログラムを作成し、実施しております。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる療育内容を作成しているか	○		個別療育と、集団療育を、一人一人のニーズに合わせ、また、集団の中では共通のニーズを持った方々にそれぞれの療育内容を提供させていただいております。
	16	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前回療育での気になった項目や、共有事項の確認、相談支援の内容などを皆で握りあいをし、支援にあっております。
17	支援終了後には、職員間で、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育後、フィードバックをし、改善できる点、引き継ぐ点を、共有事項ファイルに保存するなどしております。	
18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容に対し、写真付きで細かく記載、保管しております。使用教材もファイリングしております。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	モニタリングとともに、相談支援も定期的に行い、支援内容の見直しを行っております。
	20	関係機関と連携した支援を行っているか	○	関係機関連携を行っております。
	21	併行利用や移行に向けた支援を行うなどインクルージョン推進の観点から支援を行っているか。またその際保育所や認定こども園幼稚園特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	情報共有シートを作成するなどし、支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。
	22	就学時の移行の際には小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	情報共有シートを作成するなどし、支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。
	23	他の支援センターや支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	○	連携し、相談・情報共有の時間を設けております。
	24	保育所や認定こども園幼稚園等との交流や地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	保育園、幼稚園、センターにお伺いし、交流を深めております。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	参加しております。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	お子さまの状況を伝えあい、発達状況や課題について共通理解をもつようにしております。
保護者への説明責任等	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	保護者の方に参加いただき、ご家庭でご利用していただけるような研修を実施しております。
	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時、変更時説明を行っております。
	29	支援ガイドラインの「支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか	○	支援ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成し、保護者様にご説明の上、署名や押印を頂いております。
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	定期的にお悩み相談を行い、必要があれば資料を作成しお渡ししております。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者様同士が情報交換をすることができるような場を提供させていただいております。
	32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	ご相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応しております。
	33	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	活動概要などについてSNSでの発信、行事予定などについてはお手紙、LINEにて周知しております。
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報の取扱いには十分注意し、個別ファイルは鍵付き書庫で事務所保管しています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	意志の疎通や情報伝達のための配慮をしております。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今までは行っておりません。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	周知し、訓練実施しております。また、療育の中にもその子に合わせた、緊急時対応できるような課題を実施しております。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月一回以上、避難訓練や子どもたちに向けた災害に関する指導を行っています。

非常時等の対応	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	確認しております。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、把握しているか	○	情報共有しております。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットがあった場合には、毎日の会議で情報共有し、再発防止のための対応を職員皆で考えて改善しております。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会が、虐待防止に関する研修を行い、職員で理解を深めております。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関する説明書にて、保護者の方に身体拘束を行う場合・理由・方法・時間などについて説明を行っております。

○この支援自己評価表は、支援センター又は支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

事業者向け 自己評価表

放課後等デイサービス

記入年月日: 令和6年7月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		広々としたスペースを確保し、机上課題、粗大運動ともに行うことができるようにしてあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		通常よりも多くの職員さんを配置することで、余裕を持ち、療育に入ることができるようにしております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		出入口に靴を履くための手すりを設置したり、0歳児のお子さんにも過ごしていただけるように床材など配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝、毎療育ごとに清掃、消毒を行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		療育の動画を見返すなど、こんなときどうしたらよかったのかなど、職員が相互に確認しております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		月に1回の相談の時間以外にも、見学スペースにてお話ししていただけるよう心がけております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		支援の質、評価及び改善について会議、昼礼など折に触れ確認し、実際の支援に活かしていくようつとめております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部の研修のほかに、それぞれの職員のもつスキルに合わせ、内部研修も行っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	○		アセスメントは、初回と、適宜行い、個別支援計画に反映するようにしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用しております。
	11	支援計画には、支援ガイドラインの「支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援に必要な項目を適切に選択し、一人一人に合わせた、具体的な支援内容にしております。
	12	支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に基づいたサービス提供実施記録を作成し、支援を行っております。
	13	活動プログラムの立案を相談しながら行っているか	○		それぞれのもつスキルにより、支援の内容を組み立てております。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		般化を意識し、多角的な視点でプログラムを作成し、実施しております。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで療育内容を作成しているか	○		個別療育と、集団療育を、一人一人のニーズに合わせ、また、集団の中では共通のニーズを持った方々にそれぞれの療育内容を提供させていただいております。
	16	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前回療育での気になった項目や、共有事項の確認、相談支援の内容などを皆で握りあいをし、支援にあっております。
17	支援終了後には、職員間で、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育後、フィードバックをし、改善できる点、引き継ぐ点を、共有事項ファイルに保存するなどしております。	
18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容に対し、写真付きで細かく記載、保管しております。使用教材もファイリングしております。	

	19	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングとともに、相談支援も定期的に行い、支援内容の見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	20	放課後等デイサービスガイドラインの「自立支援と日常生活の充実のための活動」、「多様な遊びや体験活動」、「地域交流の活動」及び「子どもが主体的に参画できる活動」の4つの基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		自立に向けた取り組みや、体験活動、外出時の地域交流、子どもが参画できるようなイベント等を企画し取り組んでおります。
	21	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		協力、相談、選択できるような療育内容となっております。
	22	学校を卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○		情報共有シートを作成するなどし、支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。
	23	他の支援センターや支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	○		連携し、相談・情報共有の時間を設けております。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○		イベントなどで交流をしております。
	25	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しております。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お子さまの状況を伝えあい、発達状況や課題について共通理解をもつようにしております。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者の方に参加いただき、ご家庭でご利用いただけるような研修を実施しております。
保護者への説明責任等	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時、変更時説明を行っております。
	29	支援ガイドラインの「支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ているか	○		支援ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成し、保護者様にご説明の上、署名や押印を頂いております。
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的にお悩み相談を行い、必要があれば資料を作成しお渡ししております。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者様同士が情報交換をすることができるような場を提供させていただいております。
	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、迅速かつ適切に対応しております。
	33	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		活動概要などについてSNSでの発信、行事予定などについてはお手紙、LINEにて周知しております。
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取扱いには十分注意し、個別ファイルは鍵付き書庫で事務所保管しています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		意志の疎通や情報伝達のための配慮をしております。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今までは行っておりません。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		周知し、訓練実施しております。また、療育の中にもその子に合わせた、緊急時対応できるような課題を実施しております。

非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月一回以上、避難訓練や子どもたちに向けた災害に関する指導を行っています。
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	確認しております。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、把握しているか	○	情報共有しております。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットがあった場合には、毎日の会議で情報共有し、再発防止のための対応を職員皆で考えて改善しております。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会が、虐待防止に関する研修を行い、職員で理解を深めております。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関する説明書にて、保護者の方に身体拘束を行う場合・理由・方法・時間などについて説明を行っております。

○この支援自己評価表は、支援センター又は支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

事業者向け 自己評価表

保育所等訪問支援

記入年月日：令和6年7月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 境 備 体 ・ 制 運	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		共有可能な教材をお尋ねし、療育の現場と訪問先と一貫した支援ができるよう努めております。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		通常よりも多くの職員さんを配置することで、余裕を持ち、療育に入ることができるようにしております。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		記録の周知徹底、相談、改善を行っております。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		FB時も含め、意向等を把握し、改善につなげております。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		記録記入後は毎回内容に対する、考察、所見などをもとに改善に向けての相談等を行っております。
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修のほかに、それぞれの職員のもつスキルに合わせ、内部研修も行っております。
適 切 な 支 援 の 提 供	7	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		ニーズ把握と訪問先の状況を丁寧にヒアリングし、支援計画を作成しております。
	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日頃より職員間で相談がなされており、意見を忌憚なく言える環境になっております。
	9	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づいた視点で訪問させていただき、支援を行い、ABC理論に基づいて記録に残しております。
	10	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的にツールや、手立てなどを支援先にお伝えしています。
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員間での情報共有は、訪問支援員以外にも行っており、話し合いを常に行うようにしている。
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		記録の共有はもとより、情報交換を常に行うようにしています。
	13	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		生活の流れや教育活動の妨げにならないよう十分に配慮した上で、学校での集団活動に関わり、行動観察を致します。その後、本児の特性と環境面から本児とのかかわり方や活動の組み立て方について情報交換・助言等を行っております。
	14	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		個別支援計画に基づいた視点で訪問させていただき、支援を行い、ABC理論に基づいて記録に残しております。

	15	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		期限問わず、モニタリングを開催し、適宜対応するようにしています。
関係機関や保護者との連携	16	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		療育にも携わっている職員が行っています。
	17	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		共有シートなどを用い行っております。
	18	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		参加しております。
	19	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		こまめに相談できる機会を設けております。
	20	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		取組んでおります。
	21	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。
保護者等への説明等	22	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		必要であれば、会議も開き、協力を得ています。
	23	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		設けております。
	24	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		得ています。
	25	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		こまめに相談できる機会を設けております。
	26	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		交流スペースは常に開放しており、交流はなされております。
	27	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		常に最新の情報を共有できるような体制を整えております。
	28	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramや、ブログなどで行っております。
	29	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意しています。
	30	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮をしています。
	訪問先施設への説明等	31	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	
32		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		記録を通し行っています。
33		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		記録を通し行っております。
34		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意しております。
35		訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		電話などで、いつでも連絡して下さるような関係性構築に努めております。